

桑名人協

令和4年9月15日

第52号

桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361
<https://bunkyo-kuwana.jp>

ご挨拶



桑名市文化協会
会長
荒木敏文

3年前の1月に発生した新型コロナウイルス感染症は、まだまだ油断できない状況下であり、今は4回目のワクチン接種が推奨されております。

そのような状況下、5月15日に第30回の定期総会をくわなメディアライヴにて開催いたしました。

新型コロナウイルスの影響で、過去2年間は総会が開催できず、書面議決となりました。今回開催するか否か随分悩みましたが、役員会に諮り開催となりました。

総会は、年に1度会員の皆様にお会いできる最大の行事であり、皆様のお顔を拝見し、開催して良かったと思っております。



▲くわなメディアライヴにて、3年ぶりの対面での定期総会

告「令和4年度事業計画」「令和4年度収支予算」が、石垣議長の進行のもと、可決されました。そして、令和3年度桑名市文化功労者表彰を受けられました芸能I部門の桑名能楽連盟様及び第21回三重県文化賞を受賞されました美術部門の廣山三千代様の紹介があり、心よりお祝い申し上げます、今

後も後進の指導と更なるご活躍を期待しております。

また令和5年は、文化協会設立30周年を迎えます。現在は実行委員会を立ち上げ、「未来に繋ぐ桑名の文化」をテーマに、事業概要を取りまとめしております。会員の皆様のご支援・ご協力をお願いするものであります。

結びに、今年は、花火大会・石取祭が開催されましたが、まだまだ新型コロナウイルスが収束したわけではありません。会員の皆様には3密を避け、うがい・手洗い・マスクなどにご留意いただき、健康で過ごされますようご祈念申し上げます。

三重県文化賞文化奨励賞 を受賞して

美術部門（個人会員）

廣山三千代

文化奨励賞を受賞させて頂き、とても嬉しく思っております。又、皆さんに祝って頂きありがとうございます。

三重県で、美術工芸の染色の受賞は名簿を見て初めてと言うことを知り嬉しくもあり寂しい気持ちにもなりました。

三重で染色を習うことが出来ず長年京都の師の所に通い、いろいろ習得致しました。地元にも指導者がいない染色は、時間も費用も必



要で、とても自分一人の力では出来なかったと思います。

気がつけば37年、いろいろな方々に力になって頂き、パラミタミュージアム、ギャラリーぶなの木さんなど個展を幾度もさせて頂きました。また展覧会への出品、出来ばえにおちこむ私を励ましてくれた主人がいてくれなかったら今の私は無いと思います。桑名市民展の招待作家にして頂いた時も「よかったな」と喜んでくれました。今回の受賞も一番喜んでくれたことと思います。

これから、もし出来ることであれば地元の若い人達に伝承していきたいと思っております。



第31回 桑名市民芸術文化祭 ～プログラム～

右記の日程で市民芸術文化祭を開催します。
さまざまな文化・芸術にふれてみませんか。
皆様のご来場をお待ちしています。



☆新型コロナウイルスの影響で、文化祭の催し・協賛事業が中止または変更になる場合があります。最新の情報は桑名市文化協会ホームページをご確認ください。

<https://bunkyo-kuwana.jp>

☆お問い合わせ
文化協会事務局(桑名市ブランド推進課内)
(TEL24-1361 FAX24-2474)まで



●協賛事業

ぐるーぶ東35周年 邦楽演奏会 柿安シティホール(桑名市民会館) 小ホール 【入場無料】
10月23日(日) 11時30分～15時30分 箏、三絃、尺八の演奏会。小学生から80歳代で幅広い年齢層が一堂に会します。

第9回 Piano study 音楽発表会 柿安シティホール(桑名市民会館) 小ホール 【入場無料】
11月13日(日) 12時30分～16時 日頃の成果を発揮して、ピアノ個人演奏とアンサンブル演奏の発表会です。

趣味教養祭(桑名愛石会第47回水石展)【入場無料】

10月15日(土) 9時～17時
10月16日(日) 9時～15時

場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール

華道展 【入場無料】

10月29日(土) 13時～16時
10月30日(日) 9時～15時30分

場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 展示室

吟剣詩舞道の祭典 【入場無料】

10月30日(日) 13時～16時(開場 12時30分)

場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 小ホール

お茶会 【呈茶券】
11月3日(木・祝) 10時～15時30分 前売り 1,000円(入苑料込)
当日 700円(入苑料別)
【入苑料】
一般460円/中学生150円
場所:六華苑 一の間

芸能の祭典(日本舞踊、箏曲、民謡、大正琴など) 【入場無料】

11月5日(土) 13時～16時(開場12時)
11月6日(日) 11時～16時(開場9時30分)

場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 大ホール

音楽のフルコース 【入場無料】

11月20日(日) 13時～16時(開場12時30分)

場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 大ホール

美術部門展 2022 【入場無料】

11月25日(金) 12時～17時
11月26日(土) 9時～17時
11月27日(日) 9時～16時

場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール

小倉百人一首 初心者かるた取り大会 【参加費】
11月27日(日) 9時30分～12時30分 500円/人
場所:桑名市パブリックセンター 日本間 (申し込み必要)

ダンスアートフェスティバル 【入場無料】

11月27日(日) 14時～17時15分(開場13時30分)

場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 大ホール

社会文化部門展 ～暮らしの近くに息づく文化 2～

11月26日(土) 9時30分～16時30分 【入場無料】
11月27日(日) 9時～15時30分

場所:柿安シティホール(桑名市民会館) 展示室

趣味教養祭(パッチワーク・きもの) 【入場無料】

12月3日(土) 9時～17時 展示と体験(材料費必要)
12月4日(日) 9時～15時

場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール

くわコレ'22 【入場無料】

12月3日(土) 13時～16時 展示と体験(材料費必要)
12月4日(日) 9時～16時

場所:くわなメディアライヴ 多目的ホール

演劇の祭典 劇団すがお公演 【チケット】
12月24日(土) 18時～20時 (開場30分前) 一般 前売 1,500円
12月25日(日) 13時～15時 シニア 前売 1,200円
中高生 前売 700円
場所:桑名市総合福祉会館 大会議室 (当日は各300円高)

「桑名文協」第53号に文芸作品発表

2023年3月発行

場所:各まちづくり拠点施設、公共施設等に配布

第31回 桑名市民芸術文化祭へのおさそい

真・善・美を
永遠に追及していく

芸能部門 勝六流邦楽会

中村 榮子



コロナでこの二年以上、イベント等が中止となり今年の「邦楽祭」も同じ。ところが今年はそれを吹き飛ばす石取祭が開催される事を聞き心がはりました。待ちに待った桑名を盛り上げる一つの祭典、桑名の人にとって石取祭は最高のイベントでその曲を「芸能の祭典で」発表できるなんてこの上ない喜びです。桑名は城下町で七里の渡とか蛤でも全国的に有名で知らない人はいないほど。家元は桑名生まれの桑名育ちで、桑名を一番愛し、桜が咲く頃は、丁度「邦楽祭」があり終わってから九華公園になだれこみ、お弟子さん一同と共に三味線や太鼓で道行く人の足を止め

た程です。家元が常に言っていたのが、真（まこと）・善（よいく）と）・美（うつくしいこと）を永遠に追及することだそうで、私もそれを守って一曲一曲、思いを込めて、いかにお客様に感動を与え喜ばれるか、旅に出ててもその地方の曲を、研究し工夫して取り組んでいます。芸能に携わっていればこそその勉強ができて前に進んでいきます。

次回の「芸能の祭典」が来る十一月五日、六日に行われますので皆様の越えしを心よりお待ちしております。

音楽のフルコース

文化協会に入会して

音楽部門 ピアノスタディ

水谷直美

音楽教室の講師から独立し、経営者になり、文化協会に入会しました。わずかな年会費で、芸術文化祭「音楽のフルコース」に参加できます。私の発表会は、ソロとアンサンブル発表があり、音響、照明等、段取りが必要で、一つの舞台をどうやって仕上げていくか手探りでしたから、フルコースへの参加は、全てがお手本でした。こうして、文化協会で学ばせていただき、当教室の発表会も今秋、第9回を迎えます。また、ドイツよりヘンリ・シーグフリードソン



教授を招いて公開レッスン及びコンサートを開催、あのデイナーは最高です。そのフルコース、今年度から、多くの方々に見えていただけよう、大ホールでの開催が決定しており、9団体が出演します。是非、お越しください。

最後に、戦争を知らない我々が、戦争で苦しむ人々を目の当たりにし、また、ウイルスという目に見えないものと戦っています。そんな中、毎日ピアノが弾けることに心から感謝し、一日も早く世界が平和になるよう祈ります。

コロナ禍に於ける月登

茶華香道部門 表千家流

小川与松

令和4年6月19日（日）3年ぶりに六華苑にて月登が開催されました。待ちに待った茶会でしたがコロナ禍での開催で感染防止に関して細心の注意をしなければならず、皆で対策をいろいろと考慮



いたしました。入り口で検温消毒。チケットにお名前と連絡先をご記入いただき、茶席ではお客様同士の間隔を取っていただきました。以前は一人でも多く席についていたが、今回は優先していましたが、今回は座敷二部屋を開放し、半畳分が一人様となるようゆったりと余裕のある席にいたしました。なおかつ障子・ガラス戸も開けて換気がよくなるようにいたしました。そして、1回の茶席に定員最大20名と決め、お菓子をお出しするにあたっては、以前は5、6人分を一つの菓子器でお出ししていましたが、今回はおひとり分ずつ個包装の上個別の器でお出しいたしました。また水屋では蔵前の水道をフル活用してこまめに洗浄、消毒を徹底しました。

不安なスタートでありましたが、お陰様で、お客様より「久しぶりにゆつくりと一服のお茶をいただき、リラックスできたお茶会でした」とのお声を頂戴いたしました。スタッフ一同も大変でしたが、楽しい一日を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

令和4年度 桑名市文化協会育成補助金助成事業一覧

	申請者	事業名	開催期日	開催場所
1	ぐるーぷ束	ぐるーぷ束 35周年邦楽演奏会	R4.10.23	柿安シティホール（桑名市民会館）小ホール
2	シャンテ・クレール「桑名第九記念合唱団」	シャンテ・クレール 第33回 定期演奏会	R4.10.16	柿安シティホール（桑名市民会館）大ホール
3	Piano study	第9回 Piano study 音楽発表会	R4.11.12~13	柿安シティホール（桑名市民会館）小ホール
4	一般社団法人 装賀きもの学院	ゆかたで楽しむ きつけ講習会	R4.7.24	柿安シティホール（桑名市民会館）展示室
5	全日本写真連盟 桑名支部	創立65周年記念全日本写真連盟桑名支部 写真展	R4.9.23~25	柿安シティホール（桑名市民会館）展示室
6	池坊桑名支部	池坊 桑名支部花展	R4.10.1~2	柿安シティホール（桑名市民会館）小ホールロビー
7	女声合唱団 くわな市民コーラス	女声合唱団くわな市民コーラス 第26回演奏会	R4.5.15	柿安シティホール（桑名市民会館）大ホール
8	多度雅楽会	桑名六華苑 秋の舞楽会	R4.11.5~6	六華苑 芝生広場
9	啓萃会	藤間流 日本舞踊 啓萃会	R4.4.29	桑名シティホテル
10	桑名吹奏楽団	桑名吹奏楽団 第47回定期演奏会	R4.9.11	柿安シティホール（桑名市民会館）大ホール

この中から2団体の方々に、活動紹介をしていただきます。

「歌う喜びとともに」

音楽部門 シャンテ・クレール

「桑名第九記念合唱団」

笠井 豊

桑名市制50周年記念事業として昭和62年8月30日に桑名市民会館大ホールにおいて桑名で歌う「日本の第九」（なかにし礼作詞）演奏会が開催されました。その感動をもらった有志80名程により昭和63年1月24日にシャンテ・クレール「桑名第九記念合唱団」が発足しました。現在の団員数は40名程で「日本の第九」経験者は10名弱になっています。

最初のコンサートは昭和63年8月27日でした。その後、毎年演奏会を行ってきましたが令和2年1月に新型コロナウイルスが確認されました。平常が平常で無くなり歌いたくても歌えないもどかしさ、練習会場も規制され充分な練習も行うことが出来ず、また演奏会場が使えなくなり中止となりました。この時はど平常時のありがたみを感じたことはありません。そんな中、昨年は十分に感染対策を取り演奏会を開催することができました。歌うことのできる喜びを再確認しました。

発足以来、中西正行先生にユーモアたっぷりの笑いありで、毎週楽しくご指導をいただいております。今年10月16日に柿安シティホールで第33回演奏会を行う予定です。



です。練習回数も残り少なくなってきましたが演奏会に向けて頑張っています。皆様お誘いあわせの上是非ご来場ください。

ちづくり拠点施設で金曜日の午後7時から練習を行っていますので、一緒に歌ってみたいと思われる方はどうぞお越しください。楽譜が読めなくても大丈夫です。

趣味で楽しく元気に65年

美術部門

全日本写真連盟桑名支部

佐藤 允孝

昭和31年に発足した全日本写真連盟桑名支部が、65周年を迎えました。全日本写真連盟は、朝日新聞社が後援する全国組織のアマチュア写真クラブです。

会員20名（平均年齢28才）で発足した桑名支部は、数々の実績を残してきましたが中でも、「桑名の顔シリーズ」「明治生まれの百



人」「北勢線」等の写真展は大変好評をいただきました。特に、災害写真集「伊勢湾台風の全貌」は、多くの人に感動を与えました。この写真集は、桑名市内の図書館でもご覧になれます。

私どもの活動は、趣味の世界です。人生百年と言われる時代を迎え、趣味を生かした人生設計を考えて見るのもいいのではないのでしょうか。今年9月に「創立65周年記念写真展」を開催します。本来であれば昨年開催の予定でしたが、コロナ禍の影響で1年延期しての開催となりました。桑名市文化協会を始め、各関係者のご支援、ご指導を賜りながらの開催です。これからも感謝の気持ちを忘れず、より良い作品作りに努めて参ります。

私たち桑名支部は、一緒に写真を楽しむ仲間を募集しています。

毎月第1土曜日の午後1時から月例会を行っています。興味のある方は是非見学にお越しください。

活動にスポット

アメリカンフラワーに魅了されて

趣味教養部門 (個人会員)

清水 禎子



▲第69回桑名市民展 美術工芸部門
最優秀賞金賞作品「思いをよせて」

アメリカンフラワーとの出会いは46年前福岡の井筒屋デパートの手芸売り場でした。透明感のあるかわいらしいスマイルを目にして「なんてきれいなんだろう。」って思ったあの時の感動が忘れられません。材料と本を買って自己流で始めて2年後本格的に教室に入って学び44年になります。今は独自の技法で、新しい物を考える時はワクワクしながら生みの苦しみを楽しんでいきます。今回初めて桑名市民展に出品させて頂いて、連鶴やハマグリ作りは本当に楽しかったです。思いがけず賞も頂き、とても嬉しかったです。桑名で2度の個展をしましたが、初めて見たという方も多くて、知って頂く良い機会になりました。

アメリカンフラワーは形づけしたワイヤーを合成樹脂液に入れて膜を張らせて作るお花です。すぐに乾きます。自宅教室をしています。教室ではリクエストを受けて作ったり、皆さんで楽しんでいきます。駐車場の心配もなく、持ってくる物もなく、気楽に来て頂けるので、ステキなアメリカンフラワーを始めませんか。ワイヤーと友達になりましょう。

書の楽しみを子どもたちに

美術部門 多度書友会

林 花奈子

私達、多度書友会は2017年5月に多度まちづくり拠点施設で活動をスタートしました。

『正しい文字・美しい文字』をたくさん子どもたちに知ってほしいと思い活動をはじめました。

字を学ぶ中では覚えることも沢山あり、わかりやすく理解してもらうことをいつも心がけています。習字道具の使い方から始まり、筆の正しい持ち方、筆使い、基本点画などです。字に向き合うときには心を落ち着かせ、気持ちを含めて書きます。集中力が続く限り書き続けるお子さんいます。日々の練習では、字を書くための所作、忍耐力、集中力、そして精神力を鍛えることとなります。活動のなかで積み重なった経験が作品作りにもつながっていると感じています。



▲皆の作品が勢揃いした新春席書大会

秋。半紙に文字を体裁よくまとめ上げ、力強く表現します。その作品は桑名市民芸術文化祭美術部門展に展示していただいています。参加する子どもたちのモチベーションにもつながり、意欲的に作品作りに参加しています。冬には夏よりもっと難易度が高くなった文字を画仙紙に書きます。時間内に仕上げる新春席書大会にも参加しています。

字を書くことが『好き!』と言ってもらえるように。今、この瞬間を子どもたちと大切に過ごしたいと思っています。

第31回桑名市民芸術文化祭 ポスター・原画表彰式

今年度の文化祭ポスター原画には、幼稚園のお子さんからベテランまで20点の応募があり、油彩、水彩、写真、コラージュ作品等ジャンルも多彩で力作がそろいました。

優秀賞には、桑名市在住の中学生小林優日さんが選ばれました。

作品は六華苑やはまぐりなど桑名の自然や文化のモチーフがさわやかな色使いで描かれています。小林さんは、美術部で活動、締め切りぎりぎりまで頑張って描いたそうです。

佳作には、昨年のポスター原画を描いた戸塚ちひろさんが選ばれました。昨年と全く異なる印象深い作品です。

8月10日に関係者による表彰式を行いました。



▲戸塚さん(左)と小林さん(右)を囲んで

桑名地名あれこれ(27)

壬申の乱と桑名

社会文化部門
(個人会員)

大河内 浩

古代日本で最大の争いとされる壬申の乱(西暦六七二年壬申歳)は、第38代天智天皇の子・大友皇子(39代弘文天皇)と、天智天皇の弟・大海人皇子(後の40代天武天皇)による権力争いです。本年はこの乱から一三五〇年となり、桑名市博物館でも企画展が催されました。日本書紀によると、六月二六日(現在の暦で七月二九日)朝明郡迹太川のほとりで昇る朝日を望拝して戦勝祈願をし、大海人皇子は桑名へ向かわれました。祈願の地は、四日市市の十四川(咒志川)上流に史跡が残ります。が「とお」の名を今に伝える遠保神社の由緒では、神に捧げる米を洗った米洗川になります。鎮国守国神社所蔵の文久年間(一八六一〜六四)絵図にも現在の米洗川が迹太川と描かれています。大海人皇子は、兄・天智天皇の娘で自らの妃(後の41代持統天皇)とともに桑名郡家(当時の桑名郡の中心となる役所)で一泊して、美濃国不破関へ向かわれましたが妃は九月八日(現一〇月七日)まで滞在されました。そのため桑名

には両帝ゆかりの地名が多く残ります。天武天皇が命名の安永、矢を捨てた矢田、夢に現れた猛獣が落ちた上野と尾野山、伝滞在地の天王平、持統天皇行在所の楊柳寺、植樹に由来の柳原、宝物神庫とされる宝殿町や元地の御衣野です。また東鍋屋町にある、本願寺村の天武天皇社は、全国でも唯一同帝を主祭神とする神社です。

桑名郡家がどこであったのかは諸説ありますが、持統天皇駐蹕の地として同帝を祀る蛸塚新田の県神社あたりも有力な候補地です。蛸塚大溜池から遠く県神社を望む写真のこのあたりが、太古の昔に桑名郡の中心として栄えていたのかも知れません。



ご賛助いただいております
特別会員の皆様
9月1日現在
(五十音順)

アートスペース美園様
医療法人桑名病院様
医療法人誠会山崎病院様
魚重様
お菓子処「和」様
カネソウ株式会社様
株式会社朝日精工様
株式会社歌行燈様
株式会社グランビル様
株式会社山本園様
株式会社18bancho様
株式会社水谷精機工作所様
株式会社レイ・ステージ桑名様
木村洋子様
桑名シテイホテル様
桑名三重信用金庫様
在日本大韓民国民団三重県桑名支部様
中央不動産株式会社様
花新江場中店様
花乃江場中店様
花精工株式会社様
光精工株式会社様
ヒルカワ金属株式会社様
三重精機株式会社様
森田フードシステム株式会社様
有限会社茶子様
有限会社丁子屋様

日頃のご協力に對しまして、
深くお礼申し上げます。

編集後記

コロナ禍が始まったとき、三年は苦しまなければならぬだろうと、覚悟をした我々文化団体。日々の対面活動も自粛、催しは延期に次ぐ延期で意欲を削がれ、中止で心折れ、それでもなんとか文化の灯を絶やさない、気持ちを奮い立たせてコロナ禍でも可能な活動方法を試行錯誤し……この「桑名文協」は、桑名の文化団体が踏ん張ってきた記録です。

どの記事も、ご苦勞様が偲ばれて涙が出、一方で、前を向き続ける姿に希望を見ます。一日も早く、心置きなく活動できる日がくるよう、祈りながら進みたいと思います。
(相原 千景)



広報担当副会長 丹羽 宗俊
広報担当副会長 安田 治三
委員 文学部門 竹村 一雄
美術部門 加藤由貴子
音楽部門 近藤 ナオ
芸能I部門 杉野さおり
芸能II部門 谷口 泰江
芸能III部門 堀田佳世子
演劇部門 相原 千景
茶華香道部門 小川 与松
社会文化部門 大河内 浩
趣味教養部門 加藤 誠